

所属会派	おかや未来研究室	氏名	渡辺太郎
視察の名称	会派行政視察		
日程	令和8年1月21日(水) 13:00~15:00		
視察先	神奈川県横浜市：ホット介護サービス「ラベンダーの丘」		

㈱楽 ホット介護サービス「ラベンダーの丘」を視察

1 事業及びサービス内容、利用者について

2004年4月1日にオープンし、訪問介護事業、訪問入浴事業、地域密着型通所介護事業を実施。サービス内容は、健康チェック、入浴サービス、機能訓練、生活指導（相談・援助等）、給食サービス、レクリエーション、送迎等。

利用者数は30名、介護1（5名）、介護2（11名）、介護3（8名）、介護4（4名）、介護5（2名）。年齢層は、70代6名、80代15名、90代9名。

2 人材確保・職員体制について

職員数は、管理者1名、生活相談員1名、介護職員7名、看護師（機能訓練指導員）2名、調理師3名の計14名。

職員確保は、募集と紹介によるが、今後は、人材派遣等も検討。

3 経営・制度面の課題について

通所介護においては、報酬改定により処遇改善加算も含めて単価としては微増になったが、人件費等の高騰に追い付かないのが現状。基本単位数をあげて、加算を簡素化し、加算や補助金等の申請等、事務仕事を減らして欲しいなど。

稼働率は年平均80%弱。事業継続の見通しについては、人材を作ることを基本とし、居宅介護や託児所の設置を検討している。

◎特徴及び感想

歩行訓練として、陽気の良い時期は外に出かけることが多い。自立支援の観点から過度に面倒を見ない。調理師による手作りの食事に評判が良い。職員の定着では、楽しく働ける事に配慮しており、職員が楽しくなければ、利用者を楽しく過ごさせることはできないとしている。職員は主婦が多いので、家族の事や子供の学校行事などを優先してのシフトや有休が取りやすい様に心がけているなど、大規模施設・事業所ではできないようなきめ細かな配慮が見られた。

身近で温かなデイサービスを目指し、利用者が、「今日も来てよかった」と感じられる時間を大切にしており、一人ひとりの状態やペースに配慮した支援を行っている。「ラベンダーの丘」の運営方針である『すべては「人間のためにある」という一点を見失うことなく、利用者の立場に立った自立支援に向けてのサービスを心がける』が実践されているように感じられた。